

グループわの会員で先の大戦（太平洋戦争）体験者6名が「語り部チーム」を編成して16年。毎年、小学校6年生と中学校2年生の社会科の補充授業として、出前授業をおこなっています。

その内容は、次の通り実体験を中心にしています。写真や絵、人形を使いビジュアル的に分かりやすい工夫をしています。

- ①神戸大空襲下、火の海を逃げ回り、肉親を失った実体験談
- ②飢えに苦しんだ、田舎での辛い集団疎開の体験談
- ③戦争の原因と結果、空襲の主演B29、焼夷弾、全国の空襲被害の解説
- ④生徒との質疑応答



質問を受ける渡辺さん

「教科書にない戦争の悲惨さを知り、戦争は絶対すべきでないと思った」「疎開で食べるものがなく、イナゴやカエルまで食べた聞いてビックリした」「今の平和な暮らしが当たり前でないことを知った」「きょう聴いたことを私たちも語り継がないといけないと思った」……語り部授業を受けた生徒からは、このような感想が返って

寄稿/学習支援委
語り部チーム
加藤 勇治



11月4日宮本小学校
「語り部」授業動画
(60分版)QRコード
or「グループわHP」
→「イベント動画」



課題Ⅱ いかにかに活動を継続できるか？

きます。その度に語り部授業の“やりがい”を覚えます。

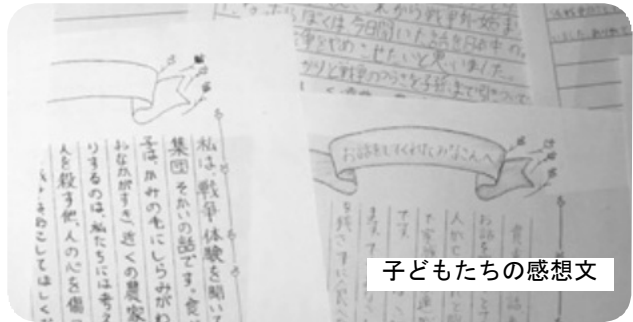
今後の課題

チームのメンバー6名の平均年齢は83歳。語り部活動を続けることが不可能になることも予想せざるを得ません。現在、喫緊の課題は「語り部授業のビデオ教材化とその活用PR」です。その具体化に向け、取り組みたいと思います。



昭和19.20年にはB29による無差別爆撃や学童集団疎開といった悲惨な戦争体験をした。

今から76年前の12月8日、日本は米国を中心とする連合国に宣戦布告し太平洋戦争に突入した。



子どもたちの感想文

＝秋の学習支援者の集いを開催＝

学習支援委員会委員長 岡本 紘一

発達障がいの特徴とその対処の仕方を学ぶために、毎年秋に「学習支援者の集い」を開いています。今年12月15日にカレッジ学習室で開催し、カレッジの藤原リーダー、学習支援者、カレッジ現役生など約45名が参加しました。



水町理事長のあいさつと、学習支援担当の岡本から今回の内容の紹介の後に、竹田契一先生の「発達障がいの幼児児童生徒はどこでつまづくか」宝塚武庫川ロータリークラブでの講演会の動画を見て学習しました。

竹田契一先生は大阪教育大学名誉教授、大阪医科大学LDセンター顧問で、発達障がいの第一人者であり、発達障がいの特徴とその対処の仕方を、若い先生方の寸劇も含めて紹介されていました。

アスペルガー症候群、ADHD、LD（学習障がい）、自閉症などの様々な発達障がいの特徴を判りやすい説明と共に、その対処の仕方も寸劇での若い先生方の熱演により具体的で理解しやすいものでした。

この動画は全部で2時間30分と長く、この学習会ですべてを写すことが出来ませんでした。またこの日が学習支援日であることなどで参加できなかった支援登録者がいました。



そこで、この動画を自宅のパソコンを使用して学習することが出来ることから、学習支援者へどのようにしたら見る事が出来るかを連絡しました。

☆ 講演動画の見方

YouTube検索 → 「竹田契一先生LDセミナー」
or 「宝塚武庫川ロータリークラブ」
*) 講演9本、寸劇8本の動画に分割されています。

発達障がいの特徴、対応を動画で学ぶ